

## 24 年度の予算編成に対し、 公明党福岡市議団の要望を行いました！

公明党福岡市議団は、23 年 12 月 13 日 高島宗一郎市長に対し、福岡市役所内にて平成 24 年度の予算に対し要望をおこないました。内容は 13 分野 136 項目と各区の要望になります。

昨年度は、子宮頸がんワクチンをはじめ子育て支援策など保健医療分野で予算化が、実現しました。本年度は、特に暮らしの質を高める施策と本市経済活動の活性化に対し要望を行いました。



### ◆ 13 分野 要望項目について ◆

- ① 行財政改革で財政の健全化を進める
- ② 健康で快適な医療福祉のまちづくり
- ③ 高齢者・障害者の暮らしを守る
- ④ 子どもを安心して育てられるまちづくり
- ⑤ 健やかに成長できる学校教育を進める
- ⑥ 文化芸術・スポーツなど人が活躍するまちへ
- ⑦ 温暖化対策で循環型社会を実現
- ⑧ 経済振興を図り雇用の創出を進める
- ⑨ 農林水産業の振興を図る
- ⑩ 都市基盤整備で災害に強いまちづくり
- ⑪ 快適な生活環境・地域づくり
- ⑫ 国際交流・観光都市づくり
- ⑬ 男女共同参画の推進

### ● 東区の主な要望項目 ●

- 香椎副都心の早期整備
- 地下鉄 2 号線と西鉄貝塚線の直通運転化
- 博多バイパス 3 号線の整備促進
- 九大移転跡地を活用したまちづくり推進
- 子どもの夜間・救急医療体制の整備
- 河川の浚渫や簡易堤防など水害防止対策
- 香椎パークポートのスポーツ施設の新設
- アイランドシティへの都市高速道路の導入
- JR 香椎線の駅のバリアフリー化促進
- 和白干潟のラムサール条約登録の推進
- 流通センターの法規制改善による活用推進
- 長谷ダムに一般用トイレの整備
- 博多湾周辺の松くい虫対策の強化



# 山口つよし議員 12月本会議での一般質問

12月は57億7千万円の予算補正を行いました！



## ◆ 廃屋・老朽化対策について ◆

空き家数は、2008年の全国統計から福岡県で約32万戸あり福岡市は約11万戸あります。その内、近隣住民から不安の声が上がっている廃屋の相談は126件あります。

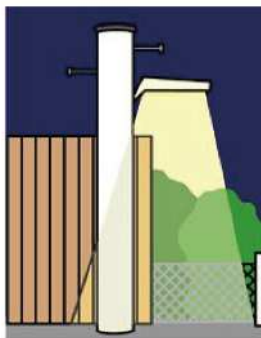
所有者が解れば解体や修繕等の話し合いが出来るのですが、判明しない場合は、固定資産税を納付している人に住宅の管理を文書で要請しています。しかし解決に至っていないのが現状です。そこで他都市で廃屋対策条例を制定し、これまで以上に解決している事例を紹介して福岡市でも条例を制定するよう市長に要請いたしました。担当局が、先進都市を調査し、本市でも実現できるように取り組むと答弁がありました。



## ◆ LED照明灯について ◆

福岡市の道路照明灯は、水銀灯などが約3万4千基と住宅街にある防犯灯が、約4万4千基あります。

電気代や維持費の観点から各政令市は、随時LED灯に変更しています。本市の実績は、60基のみです。防犯灯も殆どが、蛍光灯のため、今後の対応を求めました。市ではこれからLEDに変更することと、町内会が設置する防犯灯も補助率を考え、LED灯に切り替えていくことになりました。



今回、LED照明灯についての山口議員の質問が、12/17付の西日本新聞に掲載されました。

## 「道路照明灯」 LEDに変更

福岡市方針来年度から順次

福岡市は16日、市が設置する道路照明灯（約3万4千基）の光源を、水銀灯から発光ダイオード（LED）に切り替えていく方針を明らかにした。

市道路維持課によると、照明灯には、幹線道路

初期投資が高額となる道路照明灯は見送っている

ト（設置・維持費含む）

た。省電力化とコスト削減を狙い、来年度から導入する計画で、1年目は新設分も含め千基程度を切り替える予定。市議会

で山口剛司議員（公明）は本年度からLED防犯灯への補助を始めたが、

D化を決めた。市の試算では、標準的

を比べると、水銀灯の19万7千円に対し、LEDは14万2千円と5万5千円安くなるという。



2011年12月17日付け

西日本新聞記事より